

大崎市立古川西小中学校

令和5年度後期 学校・家庭生活についてのアンケート結果から

今年度、本校では学校教育目標を「共に学び 高め合い 夢に向かって未来を拓く 児童生徒の育成」と定めました。12月に行った児童生徒及び保護者の皆様によるアンケート結果を分析し、より充実した教育活動を進めて参ります。

※「よくあてはまる」「あてはまる」を足した合計を肯定的回答としています。

回答数 保護者235世帯中235名（1世帯で複数回答いただいています。）

【評価指標】学校評価アンケート及び学校生活調査 児童生徒と保護者が肯定的回答90%以上

- ① 「楽しく学校生活を送っていると思いますか？」 (児童生徒95.3%, 保護者96.2%)
- ② 「思いやりの心をもって人と接することができますか？」(児童生徒90.4%, 保護者97.5%)
- ③ 「学校行事や部活動を通して成長していると感じますか？」 (児童生徒92.8%, 保護者97.5%)
- ④ 「学校は、お便り・学校メール・西中ホームページなどで、学校からの連絡や生徒の様子を積極的に発信していると思いますか？」 (児童生徒90.3%, 保護者99.2%)

- ① 前回よりも児童生徒と保護者、共に約2%上回りました。今後も、児童生徒の自己決定場面を設け、自主的な活動を第一に考え、授業や学校行事、委員会活動、部活動等を進めて参ります。
- ② 前回よりも保護者の肯定的回答が3.5%上回りました。縦割りの掃除や、部活動見学、日々の生活で優しい雰囲気の下級生の面倒を見ようとする上級生が増えてきています。その安心感が結果として表れているのだと思います。今後も学校で良好な人間関係づくりや居場所づくりに努めていきます。
- ③ 前は児童生徒は80%台でしたが、今回は92.8%と約10%上回りました。学校行事では運動会や文化学習発表会で同級生と協力して1つの目標に向かう過程で一人一人が協力し合う喜びを実感したり、異年齢交流の学びの中で新たな気付きを体験することで、今の自分自身を見詰めることができている。その結果、少しずつ新たな自分を追い求めることになり、それが成長として表れているのだと思います。
- ④ 前回よりも児童生徒の数値は下がりましたが、保護者が99.2%と肯定的な数値が高い結果となりました。保護者の皆様には、学校の様子をお知らせするだけでなく、メール等で突然のお願いもしてきました。その度にご理解とご協力をいただきたいへんありがとうございます。今後もペーパーレス化を進めながらもご家庭と学校とが同じ方向を向きながら、お子さんの成長のために教育活動を行っていきたいと思います。

【評価指標】学校評価アンケート 肯定的回答 児童生徒と保護者どちらかが90%以上

「学校の様子や出来事を話したり（お聞きになったり）、話し合ったりすることはありますか？」

(児童生徒80.7%, 保護者91.9%)

- ① 肯定的な回答の児童生徒は、前は70%台だったので若干の上向きが見られました。一般的に年齢を重ねるにつれて大人との会話が減る傾向にありますが、本校の児童生徒は教職員に親しみを込めて話し掛けたり、相談したりしてくる児童生徒が日々の生活で当たり前な光景として見られます。また、普段から、学校にボランティアの保護者の方々や地域の方々がいることで児童生徒がいつも大人に見守られているという安心感が構築されてきているためだと考えられます。さらには、ご家庭で安心して話せる雰囲気をつくっていただいていることで、家族以外の大人を信頼することができるのではないかと思います。今後も、児童生徒と良好な関係を築いていき、安全安心な学校づくりを進めます。

【評価指標】 学校評価アンケート 肯定的回答 児童生徒と保護者どちらも90%以下

- ① 「授業を通して学習内容を理解していると思いますか。」 (児童生徒88.0%, 保護者89.0%)
- ② 「家庭学習にしっかり取り組んでいますか？」 (児童生徒76.8%, 保護者76.2%)
- ③ 「規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)ができていますか？」 (児童生徒73.4%, 保護者84.6%)
- ④ 「自分から明るく元気なあいさつができていますか？」 (児童生徒84.7%, 保護者78.7%)

- ① 前回より児童生徒が約7%下回りました。しかし、9学年については91.8%と肯定的回答が高い数値を示しました。これは、受験生だから当たり前ではなく、これまでの生活でしっかりと自分の目標をその場面、その年齢で着実に持ち、達成しようと努力してきたために生徒が手応えを感じているのだと思います。
- ② 児童生徒と保護者がともに70%台でした。児童生徒は前回から約13%下回りました。一方で保護者は約8%上回りました。本校ではキュビナ学習や各教科での宿題など、家庭学習への働き掛けを行っております。その働き掛けに対して児童生徒が真面目に向き合っているために、自分自身の取組を反省した結果このような数値になっているのではないのでしょうか。本校では、この気持ちを大事にして、今後も効果的な課題の提示や、児童生徒一人一人の頑張りをしっかりと評価していきたいと思っております。
- ③ 前回よりも児童生徒が約20%下がりました。本校では眠育を取り入れ、5年生から9年生を対象に睡眠調査を行ってきました。毎日児童生徒が記録する取組ですが、その記録の過程で自分の生活に向き合うことで、このような数値に至ったのかもしれませんが、睡眠は、小中学生の年齢では8時間以上とされています。フィンランドでは、遅くまで寝ない子供を放置していることは虐待とまで言われています。脳機能の成長のために、また精神の安定のために規則正しい生活についてご家庭でも話し合っただければと思います。
- ④ 肯定的な回答の児童生徒は約5%、保護者は約4%下回りました。保護者の皆様のご協力や児童生徒会の取組として、「おはようバード」の活動等であいさつ運動を行っておりますが、2割程度の児童生徒があいさつを自分からできていないと回答しています。季節の変化や日々の生活の忙しさ、悩み等により行動は変化していきます。タブレット端末での「相談フォーム」やスクールカウンセラーやぶらっとルーム、そして全ての教職員が生徒のSOSを受け止められるように常に寄り添い、話に耳を傾けていきたいと思っております。ご家庭でも気になることがありましたら、ご連絡いただければと思います。

保護者の記述から

10 学校が教育活動を行う上で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか？

ご意見1 学習について

〈ご意見1〉 学習について

- ・子どもの学力に合わせた学習指導法を取り入れてほしい。LDに近い子どもが増えてきていると思うので、そういう子どもたちにも理解ができるような学習法をしてほしい。また、家庭学習の習慣がないので宿題やキュビナのノルマなど学校の方から言ってもらえると家庭学習もするのではと思うので指導してほしい。
- ・宿題などももう少しあってもよいかと思っております。
- ・小中学校なので英語学習を低学年にも取り入れてほしい。
- ・異年齢交流。自ら学習に取り組めるような声掛け。

【回答】

外国語、英語科ではデジタル教科書を導入し、児童生徒が家庭でも発音練習や生の英語に触れることなど、主体的に学習できる環境を整えています。また、今後も継続して、授業でALTの生の英語に触れる機会を設けたり、グループ学習やペア学習等で英会話を実際に行ったりすることで実践で活かせる英語力を身に付けさせたいと考えております。

さらに、キュビナ学習で基礎基本の補充問題の取組が定着してきています。児童生徒一人一人が自分の苦手な箇所を把握することで、家庭学習で何を勉強すればよいかという気付きを促しています。また、教科によっては、児童生徒一人一人に対応すべく別室での個別支援を行ったり、休み時間や放課後に教える機会を設けており、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。また、1、2年生のキュビナの導入については検討して参ります。

〈ご意見2〉体力向上について

- ・車での通学が増え、体力面が低下しているのではないかと心配になりますので、体育の授業等で体力向上に力を入れて欲しいです。
- ・勉強面はもちろんです、宮城県の小学生の肥満がワーストに入っていたので、体力面も力を入れてほしいと思います。

【回答】

- ・体力向上については、体育の授業において運動量の確保に努めたり、業間休みの異年齢交流で、運動することの楽しさを実感させたりしていきます。さらには、部活動では部活動ガイドライン（土日のいずれか1日は休みとし、平日5日のうち1日は休みを基本とする）に従って、生徒の負担等を考慮していきながら体力の向上に努めて参ります。
- また、その際には「安全・安心」を第一に考え、規律を重んじて指導に当たっております。指導に対する理解に時間が掛かる児童生徒がいる場合には、その趣旨を丁寧に伝える時間を個別に設けるなど、全ての児童生徒の「安全・安心」を守りながら、今後も体力向上に努めていきたいと思っております。

〈ご意見3〉その他

- ・運動会の総練習が前日では、雨天になった場合や反省点が活かさないのではないのでしょうか？すべての行事において連絡が遅いと思います。お手伝いをするにも仕事の調整ができないので、早めに教えてほしいです。
- ・平日の学校行事は参加できないのでやめてほしい。

【回答】

- ・ご意見ありがとうございます。各職員の勤務条件や授業の関係もあり、特定の曜日が不可能な場合もあります。極力早めにお伝えしたいと思っております。

〈ご意見3〉その他

- ・ふれあい等でも（学活や行事などで）着衣水泳はプール開きすぐのほうが良いのでは？暑くなると水の事故が増えるので、できるだけ早いほうが良いと思います。

【回答】

- ・着衣で入水した場合、洗浄とろ過を毎日行う必要があり、水質管理の観点からプールの終わりに設定しています。

11 学校では、保護者の皆様の考えを大切にしながら教育活動の向上を目指したいと考えています。建設的なご意見がある場合には、ご記入ください。

〈ご意見〉

- ・行事の連絡は一か月以上前にお知らせいただきたいです。仕事のお休みなど調整が間に合わない場合があります。

【回答】

- ・学校のスケジュールについては「毎月の行事予定」でお知らせしていますが、変更等でご迷惑をお掛けしていること大変申し訳ありません。今後も、急な変更が生じた場合には、学校メールでお知らせすることになります。また、疑問や要望がある場合には、直接お電話でもかまいません。大変申し訳ありませんがご対応をよろしくお願いいたします。

〈ご意見〉

- ・いろんな先生がいて良いのですが、児童生徒の男女で対応が違う、話を聞いてくれず理不尽に怒られる。先生もその日その日で気分が違う時もあると思いますが、今一度子ども達への話の仕方、接し方、考えてみてほしいです。
- ・先生間の情報共有をしっかりとしてほしい。先生毎に話が違くと子ども達が正しい判断が難しくなる。
- ・難しいとは思いますが、先生方全体と保護者の情報共有はもう少ししっかりとできたらいいなあと思います。

【回答】

- ・統一していないという印象を抱かせてしまい大変恐縮しております。今後も、教職員全員で共通理解を図るため、情報共有をあらゆる場面で行っていきます。なお、具体的にどのような意見だったのかお知らせ願います。改めて学校としての見解を示させていただきます。

〈ご意見〉

- ・学校メールだけではなく、紙でもお便りがほしい。
- ・お便りをカラーコピーにしてもらいたい。写真が載っているときなど。

- ・お便りなどペーパーレスになってきていると感じます。今後もホームページ、メール、子どものタブレットなどを使って進めていってほしいと思います。

【回答】

- ・市教育委員会の指導により、市立学校全体で紙やインク代の節約、カラー版の配信、教職員の業務改善等の理由から1月より原則として、eメッセージに添付して配布することとしております。もし不都合等があるご家庭につきましては、担任までお声掛けください。

〈ご意見〉

- ・以前の縦割り掃除のグループの時に上級生が毎回掃除をしないでふざけたり、下級生のパーカーのフードを引っ張って転ばそうとする意地悪をしている様子が見られたり、掃除をしていると舌打ちをされたりして毎回嫌がっていました。縦割り活動はとても良いのですが、そういう様子が見られ下級生が怖がったり危険な目にあうのはどうかと思います。やるならしっかり子供たちにも指導するか見守りが必要だと思います。

【回答】

・縦割り清掃は、子供同士の教え合いを通して児童生徒が自分で考えたり周りとは協調したりする力を育てる事を目的に実施しております。今年度から始めた新たな取り組みなので、子供同士の教え合いでは、ご意見のように指導が不十分なことがあったかもしれません。清掃の各分担区には担当教師がついておりますし、児童生徒も無言清掃を意識できるようになってきましたので、現在はご意見のような様子は改善されていると思います。しかし、以前の清掃の取組で不快な思いをされたことは大変申し訳なく思います。いただいたご意見をしっかりと受けとめ、再発防止に努めてまいります。具体的には、清掃分担区の担当教師の見守りを継続し、7年生の言葉掛けや指導の仕方が下級生に不快な思いを与えるような場面があった時はその場で指導するなど、改善していきます。

〈ご意見〉

- ・運動会はやはり午前中だけ短時間だったので競技が少なく去年まで楽しみにしていた競技がなくなって、徒競走もだれがどこのコースを走るのか自分の子どもがどの競技に出るのか分からずせめて徒競走の時は名前を呼んでほしかったです。参加できないときの行事の際のオンライン配信は良いと思いました。

【回答】

- ・9学年全体のバランスを考えながら検討して参ります。事前に各クラスの学級通信等でスタートする順番を確認していただきたいと思います。また、運動会後に行ったアンケートで大多数の方が来年度の開催は今年同様が良いというご意見でしたので、午前だけの開催予定を考えています。

〈ご意見〉

- ・地域との交流をこれからも続けていきたいです。古川地域の中でも人口が減少している地域であり、離れて行く人もいますので、良さを伝えていただきたいと思います。

【回答】

- ・各地区の公民館との交流や、古川西小中学校を支えてくださる応援団のみなさんの後押しなど、様々な地域の方々との交流を通して地域の中で育てられた自分、地域を支えていく自分を意識できる児童生徒をすだていきたいと思っています。

12 今年度、古川西小中学校としてスタートしました。統合したことに関してご意見がある場合は、ご記入ください。

〈ご意見〉

- ・友達や先生が増えて、自分の気持ちを伝えても伝わらず、辛い思いをした事が多々あったので、そこは悲しかったです。
- ・体型が小柄な事で、学年問わず本人にとって傷つくような言葉を言う人が増えて辛い思いをしてきました。その都度先生に対処していただき感謝しています。
- ・統合したことで新しい出会いも刺激を受けている様子もあった。半面いろいろな子との関わりで悩んだりすることもあったようです。

【回答】

- ・これまで、少人数で生活した日々から、大人数になり、楽しいことも増えたでしょうが、不安や悩みも増えた児童生徒もいると思います。教職員スタッフでそのようなお子さんがいつでもSOSを出せるような体制作りに今後も努めて参ります。また、日々の授業でも自主性を大切にしながらも、一人一人に寄り添った教育活動を行っていききたいと思っています。

〈ご意見〉

- ・バス利用について、行政区単位で乗れるようにしてほしいです。

- ・バス通学の距離の緩和（冬季だけでも）。

【回答】

- ・大崎市のスクールバスの乗車基準は小学生低学年が2 km以上、小学生高学年が4 km以上となります。しかし、古川西部地区（古川西小中学校）については、これまでのスクールバス運行状況や地理的な状況も鑑み、通学部会で検討した結果、前期課程2 km以上、後期課程3 km以上でスクールバス利用可と開校にあたっての市教育委員会が決定いたしました。更に詳しくは以前配布しましたスクールバス利用の基準をご覧ください。

〈ご意見〉

- ・先日、保護者が集まったときにPTCには断固反対だという方がいました。小学校は4校が集まったので様々な意見はあると思いますが、私としては、PTCでもPTAでも子供たちが楽しく学校生活を送れるようサポートしていければ形はどちらでもいいのかと思います。新しい学校で先生たちも大変なことも多いかと思いますが、色々な機会で行くとどの先生たちも子供たちとちゃんと向き合ってくれてるなあと感じ、保護者としては本当にありがたいと思います。我が家の子供たちは統合して友達も増えて学校楽しい！と言っています。学校の行事に参加してみてもわかるのですが、後期課程の学生が前期課程の子たちに優しく接してくれる子たちばかりで、すごくあたたかい学校だなあと思っています。それも先生方の指導あってのことだと思います。ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い致します！
- ・学校の関係者の皆様には、お忙しい中いつも様々な行事を催して頂き感謝でいっぱいです。私も、学校に関わるようになり思った所を書かせて頂きます。1年目の保護者にとっては、まだまだ学校の事・PTCについてちゃんと理解出来ていない所が多々あります。ボランティアに入っているのだから、分かる事もありますが、入っていない方はなかなか理解出来ず聞けない方も居るのでは…と最近思うようになりました。ボランティアで入ってみると、イキイキした子供達も見ることが出来、学校の雰囲気も分かるので勿体無いなあ。と思いました。参加しやすく出来ると良いなど。思いました。
- ・PTAは今の時代にそぐわないので、今後もPTAは廃止をお願いします。
- ・小中学校になったこと、地域と連携したことにより、これまでになかった活動や急な予定変更が多くなったと感じます。必要だとは思いますが、精選をお願いします。
- ・支援ボランティアの方について線引きの必要性を感じる。守秘義務をもって活動してほしい。

【回答】

- ・開校1年目から、児童生徒が異年齢交流を通して後期課程の生徒は前期課程の児童の面倒を見ることで、人に優しくすることの喜びを知る機会となったり、今の自分自身を見詰め、成長しています。一方、前期課程の児童は、後期課程の生徒の姿から、未来の自分を思い描くことで、目標をイメージしやすくなっているのではないのでしょうか。そんな児童生徒と教職員の間に立って、保護者の方や地域の方が様々な形で支援いただけることで、学校の中で児童生徒がほっとすることができています。しかし、そういう活動にせっきく参加したいと考えていただいている方々に情報がうまく伝わらないこともありました。来年度も、eメッセージを利用して全ての保護者に同じ情報をお伝えして、誰もが気軽に学校に来れることを進めて参ります。また、守秘義務というご指摘もありました。今年度も、この点は活動の中で十分注意していたことでしたが、更に最重要事項として意識していきます。

〈ご意見〉他、たくさんの激励やありがたいお言葉をいただきました。紙面の関係上一部紹介します。

- ・上級生との交流があり、とても良い取り組みだと思っております。
- ・中学部との合同行事や、日頃の様子を見ることができ、その時までの心構え等が備わり良いと思います。
- ・異年齢交流が出来ている学校だと行事があるごとに感じます。上の学年が下の子達の面倒を見ている姿を目にすると、とてもほっこりします。
- ・毎日HPで学校の様子を知ることが出来、とても嬉しく思います。他校のHPと比べて圧倒的に情報量が多く充実した内容だと思います。先生方のフォローもしっかりしていて安心して学校に送り出すことが出来ます。
- ・運動会がとても盛り上がり、統合したからこそその楽しさがありとても良いと思いました。応援合戦も観客参加型や動画配信などを取り入れた事もとても良いアイデアだと思いました。
- ・統合する前までは子どもも親も不安しかありませんでしたが、昨年度までとは違って、友だちが増えて毎日楽しく学校生活を送れるようになり、人数が増えた事による楽しさを味わう事ができて良いです。また、人数が増える事で職員と生徒1人ひとりとの関わりや把握が難しくなるのではと思いましたが、きちんと向き合ってもらえていると感じる事が出来ます。いつもありがとうございます。
- ・来年度の子ども達や、転入されたりする子もいるかもしれないので、ジャージや学校用品など、キレイな物を学校寄付したりして、少しでも負担のないようにしては、どうか。7年生でも、バッグを旧バッグでも良くしてもらいたい。使わないランドセルを寄付したり、やれる事を探しても良いかと思えます。これからの西小中に期待したいです。

※以上となりますが、全体に関わる項目を載せています。個別の質問については、担当学年から該当する方に回答します。

「行きたくなる学校アンケート」から

各学年で「行きたくなる学校アンケート」を行いました。その結果をもとに各学年の教員で分析を行い、生徒にどのような学校生活を過ごさせたいか話し合いました。ご覧ください。

7学年

1 アンケート

(1) あなたは、たのしく学校生活を送っていると思いますか。

A よくあてはまる 40.6% B あてはまる 46.9%

C あまりあてはまらない 6.3% D まったくあてはまらない 6.3%

(2) あなたはみんなで何かをするのは楽しいですか。

A よくあてはまる 38.5% B あてはまる 57.7%

C あまりあてはまらない 3.8% D まったくあてはまらない 0%

(3) あなたは授業にすすんで取り組んでいますか。

A よくあてはまる 26.9% B あてはまる 61.5%

C あまりあてはまらない 11.5% D まったくあてはまらない 0%

(4) あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか。

A よくあてはまる 19.2% B あてはまる 65.4%

C あまりあてはまらない 15.4% D まったくあてはまらない 0%

2 結果から

7学年では、「みんなで何かをするのは楽しい」が90%を超えていましたが、「授業にすすんで取り組んでいる」が前回と比較して90%を下回りました。「授業を通して学習内容を理解している」については、前回とほぼ変わらない結果でした。「あなたは授業に進んで取り組んでいますか」「あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか」については、CとDの数値はあまり変化がないものの、AからBへと数値が増えています。

3 今後の取組

今年度の7学年の学習や行事を通して、多くの生徒がみんなで何かをすることに、達成感や成就感、楽しさを感じている生徒がほとんどであることが分かります。学年の活動でも、学級の協力を必要とする活動を継続して行ってきた成果が表れていると感じます。今後もこのような活動を多く行っていきたいです。

「授業を通して学習内容を理解している」「授業にすすんで取り組んでいる」については、中学校の学習内容が本格的になるにつれ、理解を定着させるために、予習や復習を行っている生徒とそうでない生徒の差が出てきていると思われます。定期考査の結果からも、しっかり学習した生徒とそうでない生徒の差が見られるようになりました。授業で理解することはもちろん、家庭学習の時間を確保し、復習を心掛ける学習習慣の定着が必要と思われます。今後も学習の重要性と家庭学習の定着を目指した取組を行っていきます。

「行きたくなる学校アンケート」から

各学年で「行きたくなる学校アンケート」を行いました。その結果をもとに各学年の教員で分析を行い、生徒にどのような学校生活を過ごさせたいか話し合いました。ご覧ください。

8学年

1 アンケート

(1) あなたは、たのしく学校生活を送っていると思いますか。

- A よくあてはまる 39.4% B あてはまる 54.5%
C あまりあてはまらない 6.1% D まったくあてはまらない 0%

(2) あなたはみんなで何かをするのは楽しいですか。

- A よくあてはまる 48.5% B あてはまる 51.5%
C あまりあてはまらない 0% D まったくあてはまらない 0%

(3) あなたは授業にすすんで取り組んでいますか。

- A よくあてはまる 9.1% B あてはまる 75.8%
C あまりあてはまらない 15.2% D まったくあてはまらない 0%

(4) あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか。

- A よくあてはまる 9.1% B あてはまる 66.7%
C あまりあてはまらない 24.2% D まったくあてはまらない 0%

2 結果から

全体的に肯定的な回答が見られますが、前回と比較して、AからBに、BからCに回答が移ってきています。しっかりと自分と向き合って回答しているのだと思われます。「みんなで何かをするのは楽しい」「たのしく学校生活を送っている」について肯定的な回答が多く見られ、仲間と一つの課題に向かっていく学年経営を目指していきたいと思います。「授業にすすんで取り組んでいますか」「授業を通して学習内容を理解していると思いますか」については、Aが減り、Cが増えています。学習への取り組み方について、見直しを図る必要があると思います。

3 今後の取組

8学年の後期には、職場体験や立志式がありました。他学年とも協力して行事を進め、次第に学校のリーダーへと成長してきた様子が見られます。立志式においては、自分の将来と向き合い、保護者の前で今後の決意を堂々と発表しました。

学校生活全般において、教師が一人一人に寄り添い、どのような目標を持って学校生活を送っていくのか、ともに考えていくことが必要だと思います。来年度は、進路選択の一年となります。見通しを持った学年経営と、個に応じた支援の両輪で進めて参りたいと思います。さらには、来年度は最上級生になります。既に生徒会執行部を中心に全校のリーダーになろうという姿勢が見られます。今後の活躍にご期待ください。

「行きたくなる学校アンケート」から

各学年で「行きたくなる学校アンケート」を行いました。その結果をもとに各学年の教員で分析を行い、生徒にどのような学校生活を過ごさせたいか話し合いました。ご覧ください。

9学年

1 アンケート

- (1) あなたは、たのしく学校生活を送っていると思いますか。
- A よくあてはまる 57.1% B あてはまる 34.3%
C あまりあてはまらない 8.6% D まったくあてはまらない 0%
- (2) あなたはみんなで何かをするのは楽しいですか。
- A よくあてはまる 65.7% B あてはまる 28.6%
C あまりあてはまらない 5.7% D まったくあてはまらない 0%
- (3) あなたは授業にすすんで取り組んでいますか。
- A よくあてはまる 45.7% B あてはまる 45.7%
C あまりあてはまらない 8.6% D まったくあてはまらない 0%
- (4) あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか。
- A よくあてはまる 28.6% B あてはまる 62.9%
C あまりあてはまらない 8.6% D まったくあてはまらない 0%

2 結果から

9学年では「みんなで何かをするのは楽しい」「たのしく学校生活を送っている」「授業にすすんで取り組んでいる」で90%を超える肯定的回答でした。ただ、「授業を通して学習内容を理解している」については肯定的回答が87.5%と他の回答と約10%の開きがありました。

3 今後の取組

9年生は義務教育学校の最上級生としてこの1年、後輩の手本となり、また新しい学校を一から作り上げるリーダーとして活躍してきました。また、新たな学校を中学校に入学して、これまで3年間を通して、地域学校協働活動による授業を20回以上実践し、充実した学校生活を送ってきました。コロナ禍ではありましたが、地域とともに、仲間とともに過ごしてきたことが生徒らの大きな力につながっています。集会やホームルームを通して、確かな成長を伝え続ける機会を持っていき、しっかりと子供たちに自信を付けさせていきたい思います。

学習内容については、全国学力学習状況調査では全国平均値を超える教科があり、素晴らしい成果を挙げました。また、これまでよりも全国平均値との差を縮める教科も見られ、学年全体として日々の授業を大切にしているところが成果として表れています。授業の様子から、自分で解決する意欲に加え、仲間の考えを参考に力を伸ばす生徒も増えています。分からないところを時間内に解決するために仲間と考えたり、教師に相談したりと温かい雰囲気と集中力を高めた空間で授業を受けることが当たり前になっています。

このような学習に対する意欲と雰囲気づくりを今後も継続していくよう、働きかけていきたいと思います。さらに、家庭学習に繋げて、学力の向上を図れるよう、励まし続けていきます。